

県南保健福祉事務所



矢吹病院



横山院長と共に

白河在宅支援診療所



穂積院長

塙厚生病院



佐川院長と共に

坂下厚生総合病院



松井院長と共に

地域医療研修報告 小河原 峻

私はこの度4週間地域医療研修として塙厚生病院で研修させていただきました。私の出身は白河市のため、何度か塙町や東白川郡を車で通り抜けたことはありましたが、車から降りて町の雰囲気を感じたことなどはありませんでした。そのため、塙町はどのような地域性を持っていてどのような人達が生活しているのか、そしてそれらの生活を支える塙厚生病院ではどのように医療が行われているのか、楽しみに塙町にやってきました。

初日は簡単なオリエンテーションを終えたあと、佐川院長と病棟の回診に向かいました。すれ違う看護師・事務の方・清掃の方などがひとりひとり明るく挨拶している姿が印象的でした。そういったメディカルの方々の協力があるおかげで、築40年を超える棟もある病院なのにも関わらず今でも綺麗に保たれていることがわかりました。また、その後の外来においても、患者さん一人ひとりの通院の手段やかかる時間、家族構成などもカルテ上に記載があり、患者さんの背景を理解し、それぞれの患者さんに適切な治療法を選択する姿に感銘を受けました。私が塙厚生病院での地域医療研修で学んだことは、地域医療において最も重要なのはこうした人と人とのつながりであるということです。地域というお互いの顔の見えやすい環境のなかで、患者さんのことを把握し、他の医療従事者と力を合わせて治療に取り組む。こうした人と人とのつながりを重要視して診療に当たっている先生の姿が印象的でした。

大学では、地域医療においては、医療資源の適正な分配のためにかかりつけ医や在宅医療を充実させることが重要であると習いました。しかし、訪問看護に同行させていただいた際には、実際の地域医療の最前線では、診療所の医師の高齢化や中核病院での医師不足などで、そういった取り組みの実現はなかなか難しいことなどお聞きしました。また、ICUがなく、心臓カテーテル検査が行えないなど、必ずしも自分の手で十分な治療が行える設備が整っていないなど地域医療での限界はあります。しかしそういった限られた環境であっても、限られた環境だからこそ、自分の医師としての仕事にやりがいを感じ、こうして地域医療に貢献している先生方が大勢いることに感動しました。私もいつか、修練を積み一人前の医師となり、地域医療に貢献できるようになりたいと思います。

この度はお忙しい中、研修を受け入れてくださり大変ありがとうございました。4週間という短い間でしたが、塙厚生病院での研修は私のこれからの医師人生に大きな影響を与えるものとなりました。一日でも早く地域医療を担える医師となり、この度お世話になったすべての方々を力合わせて地域医療に貢献できるようになることが最大に恩返しだと思いますので、また明日からの研修に取り組んでいきたいと思っています。